



景気動向調査結果

(平成28年7月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業））を対象に、平成 28 年 7 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 28 年 8 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更しています。

回答企業数は、450 社（製造業 240 社（うち面接 65 社）、非製造業 210 社）で、回答率は 64.3 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2918）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

平成28年7月の景気動向

1 総 論

長野県経済は、回復に向けた動きに弱さがみられます。

製造業では、前回調査と比較して、機械や輸送などで業況の改善がみられたものの、中国などの新興国経済の減速や円高進行に伴う輸出環境の悪化等により、横ばい圏内の動きとなりました。全体としては5期連続のマイナスとなりました。

非製造業では、前回調査と比較して、建設業で業況の改善がみられたものの、他の業種で悪化したため、全体では業況がやや悪化しました。

2 製 造 業

(1) 業界の業況

前年同期（27年7月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は△36.9となり、前回調査時（28年4月）の△36.7より0.2ポイント悪化しました。

3か月前（28年4月）と比較したD Iは△20.6となり、前回調査時の△17.9より2.7ポイント悪化したほか、5期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（28年10月）の予想では、円高進行に伴う景気の先行き不安や中国を始めとした新興国などの海外景気の先行き不安などを背景に、D Iは△14.9となる見通しです。

なお、イギリスのEU離脱の影響については、円高などによる「影響あり」と回答した企業が、8.9%でした。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連は弱さがみられるほか、スマートフォン向けの需要に一服感がみられます。プリンターは、新興国を中心とした安定した海外需要が継続したことにより、受注、生産は順調に推移しています。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、自動車関連向けを中心に受注、生産が堅調に推移しているものの、一部に新興国経済減速の影響などがみられます。

イ 一般機械では、設備投資の回復基調の一服感や新興国経済減速の影響がみられることから、自動車関連向けや半導体関連向けは、弱含んでいます。建設機械は、国内向けは受注、生産の一部に弱さがみられるものの、海外向けは北米向けなどの受注、生産に回復がみられます。

ウ 精密では、時計は一部に一服感がみられるものの、高価格帯製品を中心に受注、生産が堅調に推移しています。レンズは、自動車関連向けは受注、生産に回復がみられるものの、プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部には一服感がみられます。計器は、圧力計は自動車向けや産業機械向けの受注、生産が弱含んでいるものの、LPガスメーターは季節的要因により受注、生産の増加がみられます。

エ 自動車部品では、海外向けは北米などで受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けで弱さがみられます。

オ 食料品では、味そは季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。酒類は、清酒は消費の低迷により低調に推移しているものの、ワインでは受注、生産に持ち直しがみられます。飲料は季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が21.3%と前回(18.6%)より増加し、「減少」とする企業が42.7%と前回(45.9%)より減少した結果、D Iは前回(△27.3%)から改善し、△21.4となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が18.6%と前回(25.3%)より減少し、「減少」とする企業が27.0%と前回(30.3%)より減少した結果、D Iは前回(△5.0)より悪化し、△8.4となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が11.4%、「減少」とする企業が24.5%となった結果、D Iは前回予想(△12.9)より小幅悪化し、△13.1となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が24.9%と前回(20.4%)より増加し、「減少」とする企業が41.8%と前回(45.0%)より減少した結果、D Iは前回(△24.6)から改善し△16.9となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が18.3%と前回(25.3%)より減少し、「減少」とする企業が30.2%と前回(32.4%)より減少した結果、D Iは前回(△7.2)より悪化し、△11.9となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が17.5%、「減少」とする企業が20.5%となった結果、D Iは前回予想(△10.1)より改善し、△3.0となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が4.2%と前回(5.4%)より減少し、「安い」とする企業が28.2%と前回(29.3%)より減少した結果、D Iは前回(△23.9)より小幅悪化し、△24.0となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が1.7%と前回(2.5%)より減少し、「安い」とする企業が14.0%と前回(14.7%)より減少した結果、D Iは前回(△12.6)より改善し、△12.3となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が0.9%、「安い」とする企業が13.7%となった結果、D Iは前回予想(△14.7)より改善し、△12.8となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が11.6%と前回(10.1%)より増加し、「苦しい」とする企業が19.3%と前回(18.6%)より増加した結果、D Iは前回(△8.5)より改善し、△7.7となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が6.5%と前回(7.6%)より減少し、「苦しい」とする企業が14.2%と前回(11.9%)より増加した結果、D Iは前回(△4.3)より悪化し、△7.7となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が3.5%、「苦しい」とする企業が17.0%となった結果、D Iは前回予想(△16.1)より改善し、△13.5となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が18.0%と前回(16.9%)より増加し、「低下」とする企業が41.0%と前回(42.4%)より減少した結果、D Iは前回(△25.5)より改善し、△23.0となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が12.2%と前回(13.3%)より減少し、「低下」とする企業が27.0%と前回(28.2%)より増加した結果、D Iは前回(△14.9)より小幅改善し、△14.8となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が5.9%、「低下」とする企業が23.2%となった結果、D Iは前回予想(△16.6)より小幅悪化し、△17.3となりました。

(7)製造業の業種別動向

電 機 ・ 電 子

(コンピュータ・情報機器) パソコン関連は弱さがみられるほか、スマートフォン向けの需要に一服感がみられます。プリンターは、国内需要が減少しているものの、新興国を中心とした安定した海外需要が継続したことにより、受注、生産は順調に推移しています。

(半導体関連) 自動車関連向けは、海外需要にけん引され堅調に推移しているものの、中国など新興国経済減速の影響などから、デジタル家電向けや産業用途では受注、生産が弱含んでいます。

(プリント基板) 情報機器では、スマートフォン向けに一服感がみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) 自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産が堅調に推移しているほか、家電向けの一部で、需要の増加により受注、生産に持ち直しがみられます。また、エネルギー関連向けでは受注、生産が低調に推移しています。

(モーター等) 家電向けの一部で、中国など新興国経済の減速の影響などにより受注、生産が弱含んでいます。産業用途や自動車関連向けの一部で持ち直しがみられます。

(そ の 他) カーナビゲーションは、北米で続く好調な需要により受注、生産が堅調に推移しています。電源関連は、国内需要の減少により、低調に推移しています。

一 般 機 械

(工 作 機 械) 設備投資の回復基調の一服感や新興国経済減速の影響がみられることから、自動車関連向けや半導体関連向けは弱含んでいます。

(金 型) 自動車関連向けでは、国内需要の減少により受注、生産の一部に弱さがみられます。

(建 設 機 械) 国内向けは受注、生産の一部に弱さがみられるものの、海外向けは北米向けなどの受注、生産に回復がみられます。

(農業用機械等) 国内向けでは季節的要因等により受注、生産の一部に持ち直しがみられるものの、北米や欧州の海外向けで受注、生産に弱さがみられます。

精密		
(時計)	計)	腕時計は、一部に一服感がみられるものの、高価格帯製品を中心に受注、生産が堅調に推移しています。
(レンズ)		自動車関連向けは受注、生産に回復がみられます。プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部には一服感がみられます。
(計器)		圧力計は、自動車向けや産業機械向けの受注、生産が弱含んでいるものの、LPガスメーターは、季節的要因により受注、生産の増加がみられます。
自動車部品		海外向けは、北米などで受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けで受注、生産に弱さがみられます。
食料品		
(味)	そ)	季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。
(酒)	類)	清酒は、消費の低迷により低調に推移しているものの、ワインでは受注、生産に持ち直しがみられます。
(飲料)	料)	季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。
繊維・衣服		ワイシャツは、季節的要因により受注、生産が減少しています。
紙・パルプ		ダンボールは、季節的要因等により、農産物向けで受注、生産が増加しています。
印刷		印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しているほか、季節的要因等により受注、生産に減少がみられます。
その他		プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで、受注、生産に一服感がみられます。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（27 年 7 月）と比較したD Iは△32.8 となり、前回調査時(28 年 4 月)の△28.4 から 4.4 ポイント悪化しました。

3 か月前（28 年 4 月）と比較したD Iは△21.9 となり、前回調査時の△7.3 と比較すると 14.6 ポイント悪化しました。

なお、3 か月後(28 年 10 月)の予想は、業況D Iが△27.2 と前回調査時の△19.4 と比較すると 7.8 ポイント低下する見通しです。

〔各業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、公共工事などの工事量の増加により、売上高D Iや客数（受注件数）D Iがともに改善したことから、業況D Iは△22.6 と前回（△41.9）より改善しました。

3 か月後は、国等の補正予算の執行に伴う工事量の増加への期待もあり、客数D Iの改善が予想されることから、業況D Iは改善が予想されます。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、法人向け需要の動きが鈍いことなどから、売上高D Iや収益率D Iなどが悪化し、業況D Iは△9.1 と前回（0.0）より悪化しました。

3 か月後は、客数D Iや資金繰りD Iなどの低下が予想されるものの、売上高D Iの改善が予想されることから、業況D Iはほぼ同水準で推移すると予想されます。

ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業では、業況D Iが△40.7 と前回（△30.5）より悪化しました。

小売業では、消費に対する慎重な姿勢などによる売上高D Iや販売価格D Iなどの悪化により、業況D Iは悪化しました。3 か月後も、売上高D Iの低下が予想されることから、業況D Iは低下が予想されます。

卸売業では、法人需要の減少や価格競争による厳しい収益環境により、売上高D Iや販売価格D Iが大幅に悪化したことから、業況D Iも大幅に悪化しました。また、3 か月後も、売上高D Iや客数D Iなどの低下が予想されることから、業況D Iは低下が予想されます。

エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業では、業況D Iが△16.7 と前回（△12.9）より悪化しました。

飲食業では、売上高D Iや客数D Iの悪化などにより、業況D Iは悪化しました。3 か月後も、人手不足による人件費の増加などにより資金繰りD Iや収益率D Iの低下が予想されるものの、売上高D Iや客数D Iなどが改善すると予想されることから、業況D Iは改善が予想されます。

宿泊業では、観光客の増加などにより売上高D I、客数D I及び収益率D Iが改善したことから、業況D Iは改善しました。3 か月後は、消費に慎重な姿勢が見られるなど客数D Iや販売価格D Iの低下が予想されることから、業況D Iは低下が予想されます。

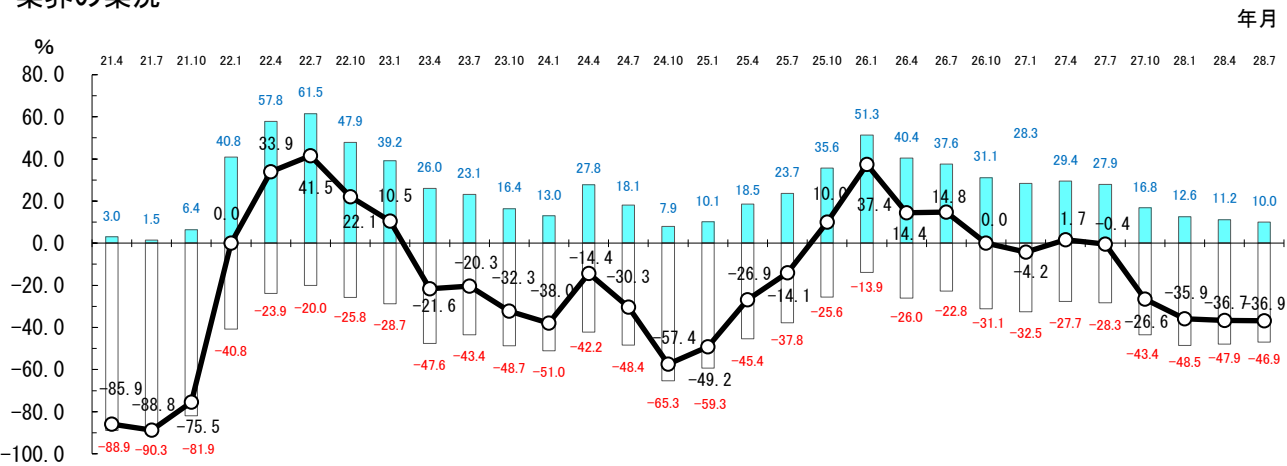
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

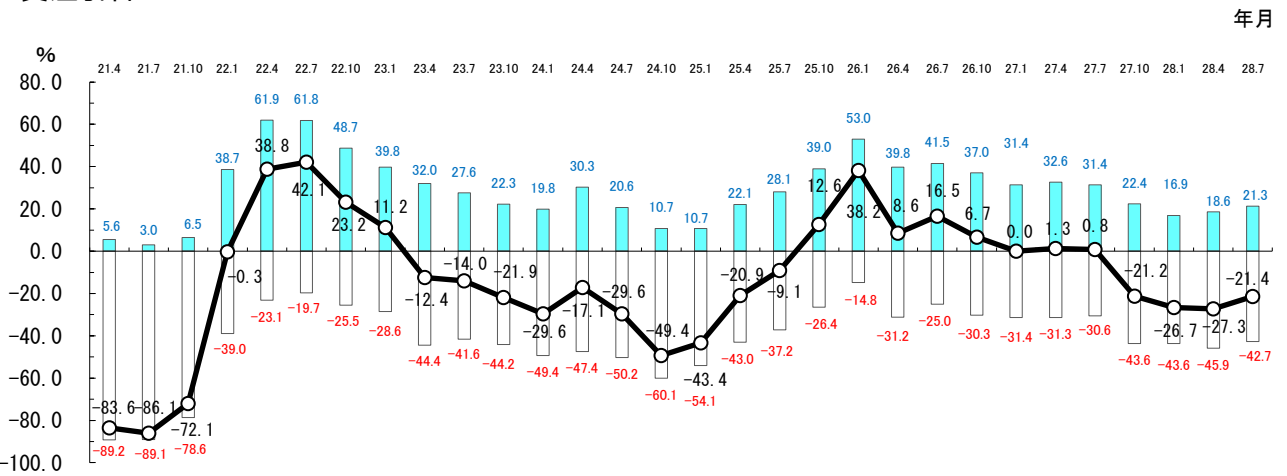
1 製造業

（１）前年同期に比べて

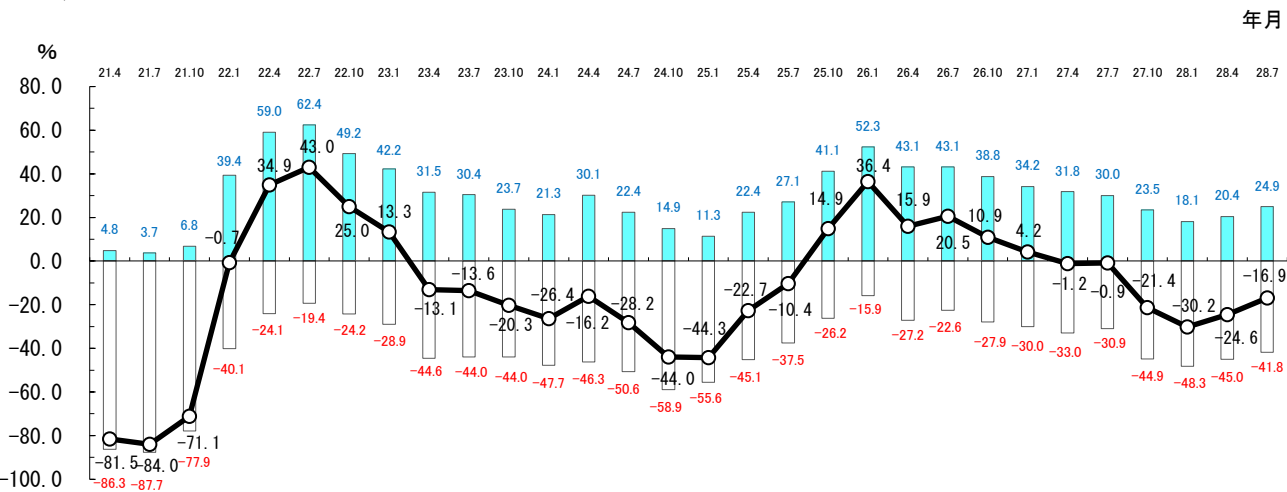
業界の業況



受注引合

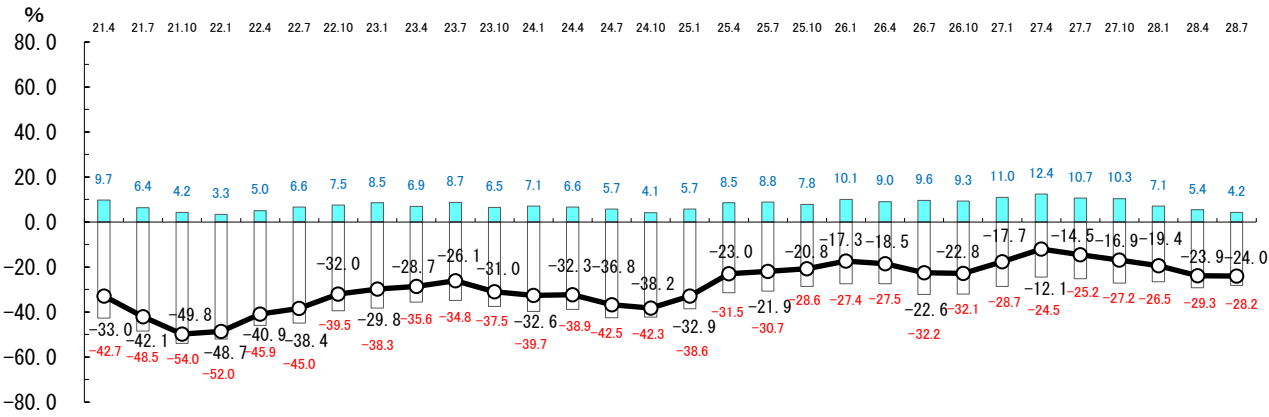


生産量



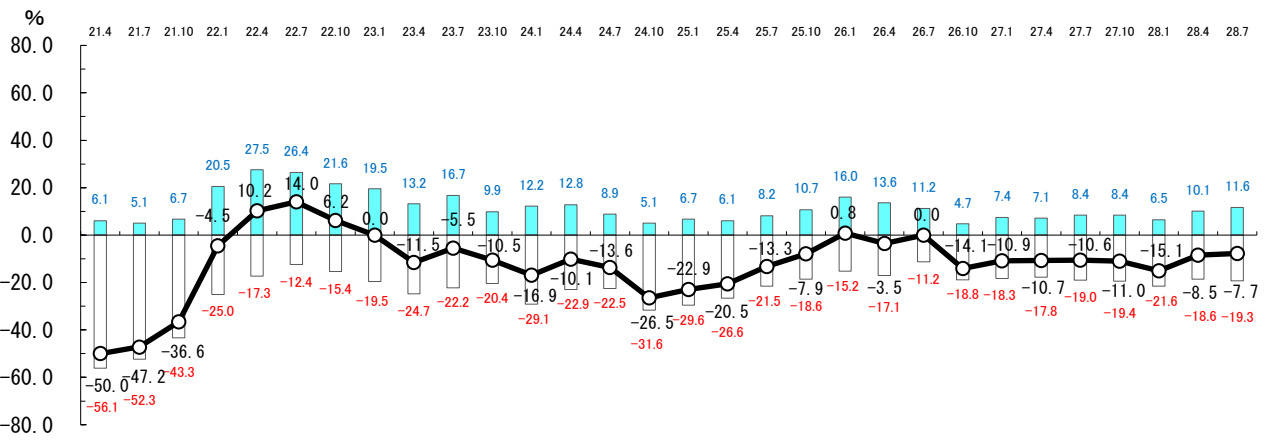
製品販売価格

年月



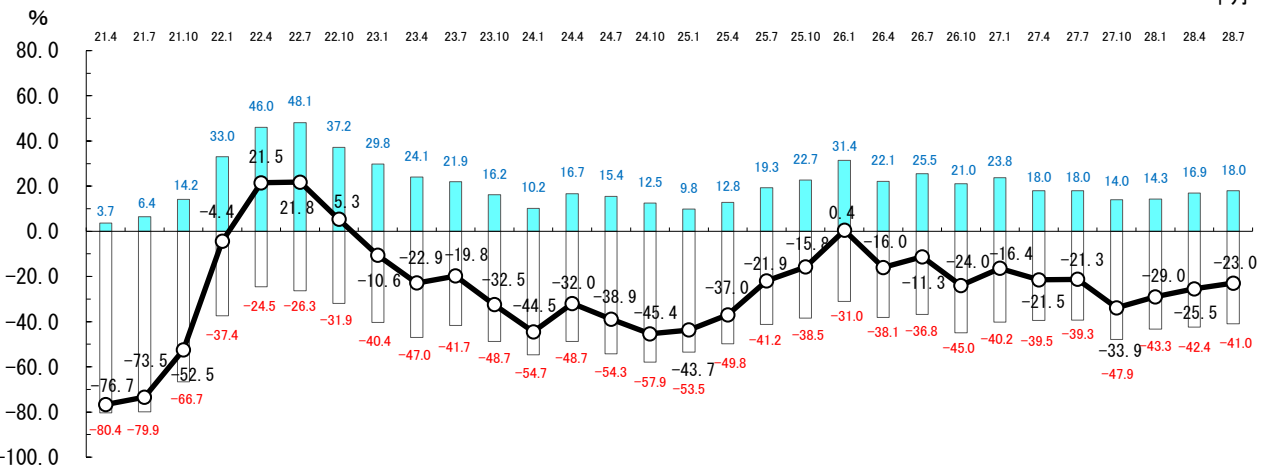
資金繰り

年月



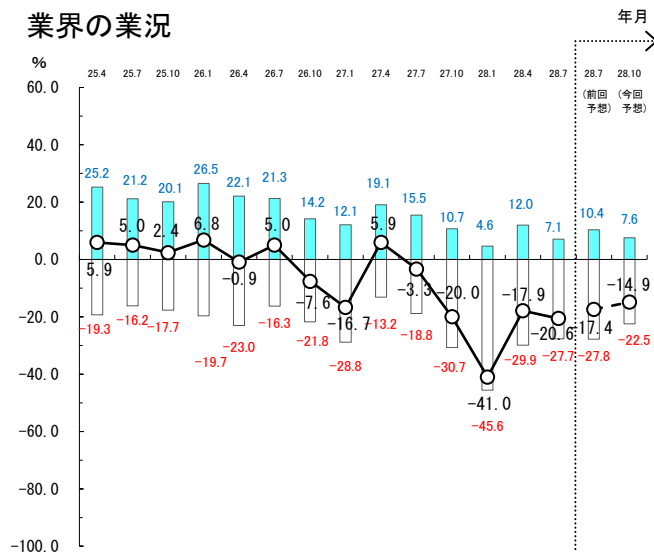
収 益 率

年月

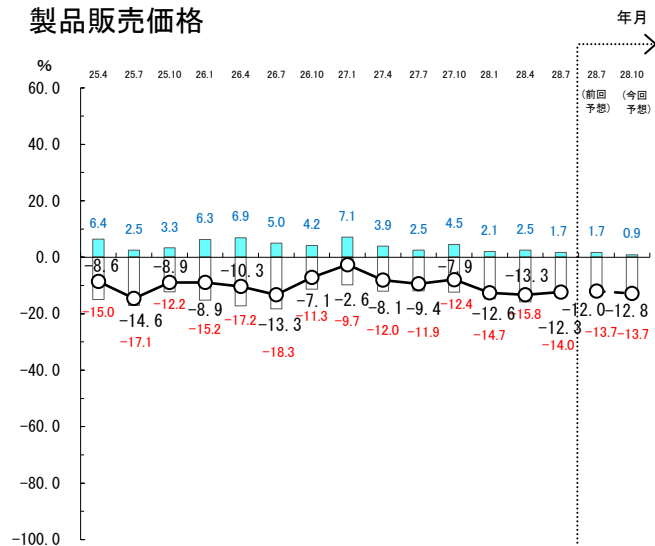


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

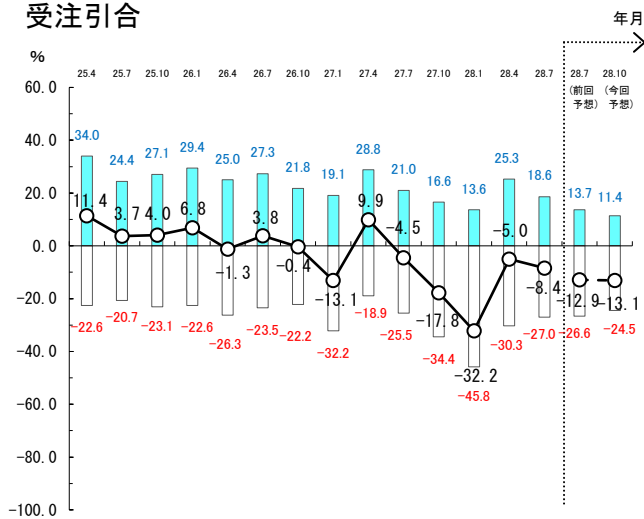
業界の業況



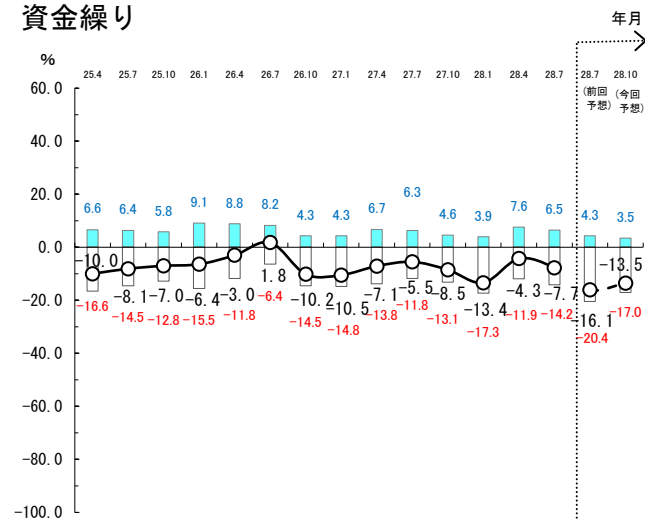
製品販売価格



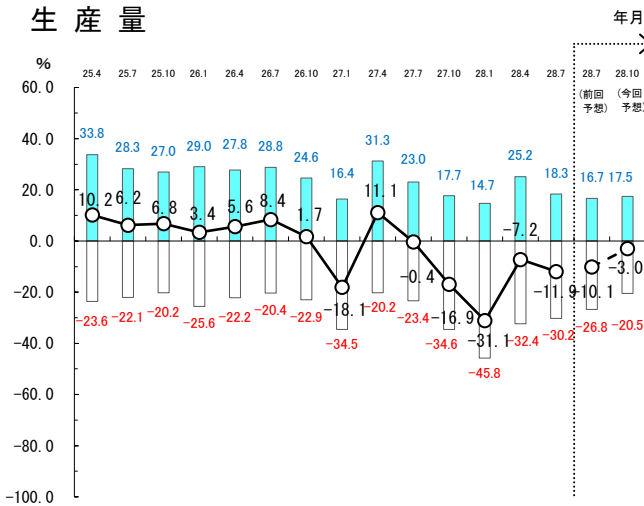
受注引合



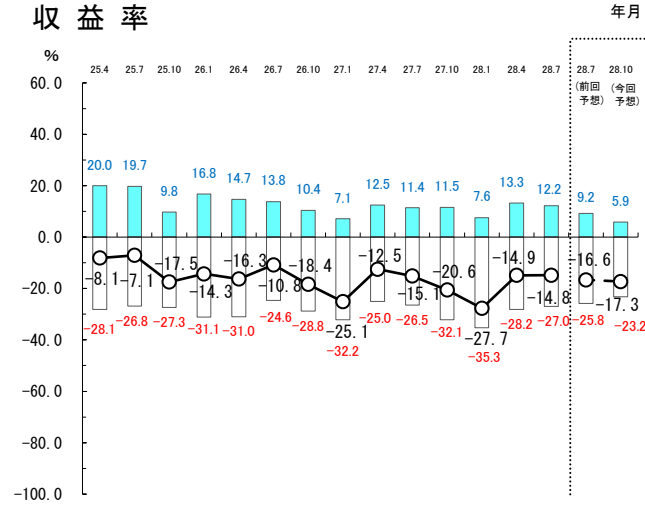
資金繰り



生産量



収益率

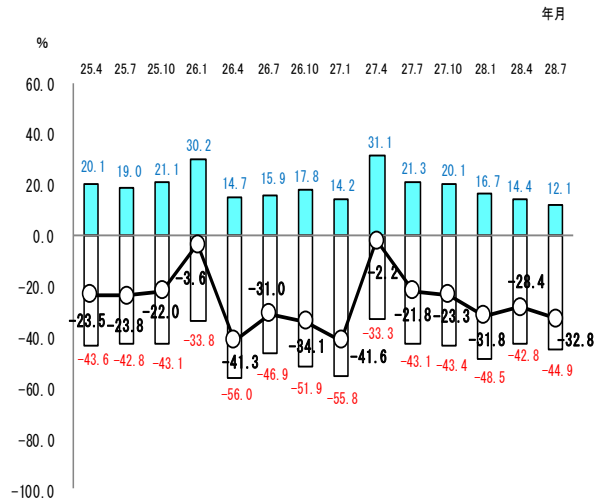


2 非製造業

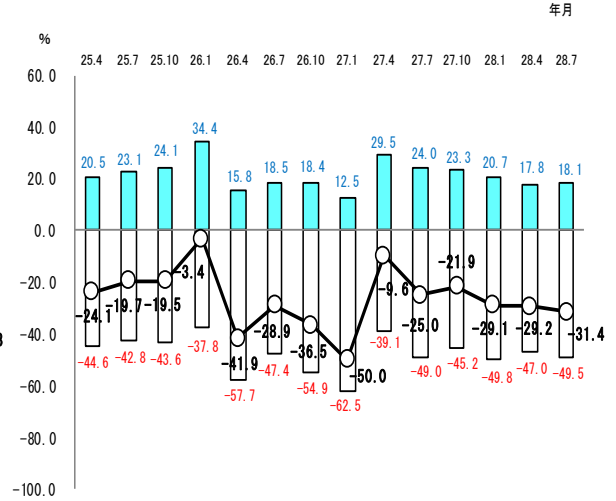
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

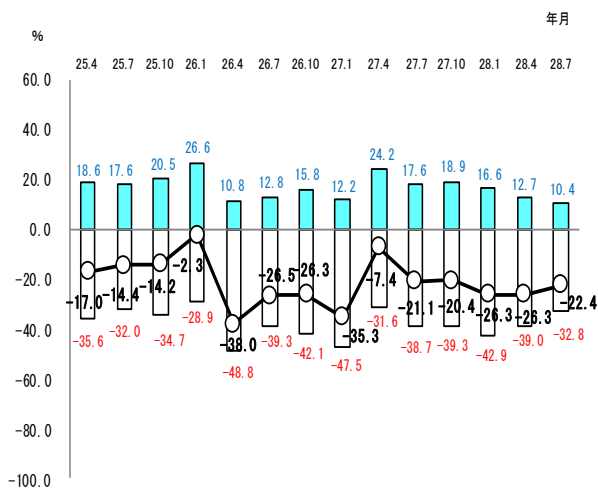
業況



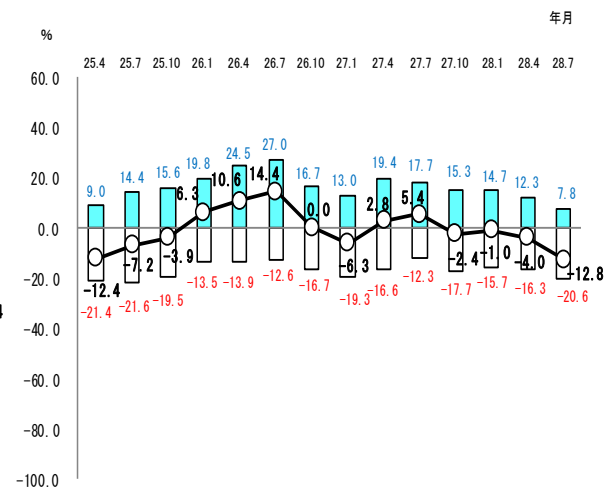
売上高



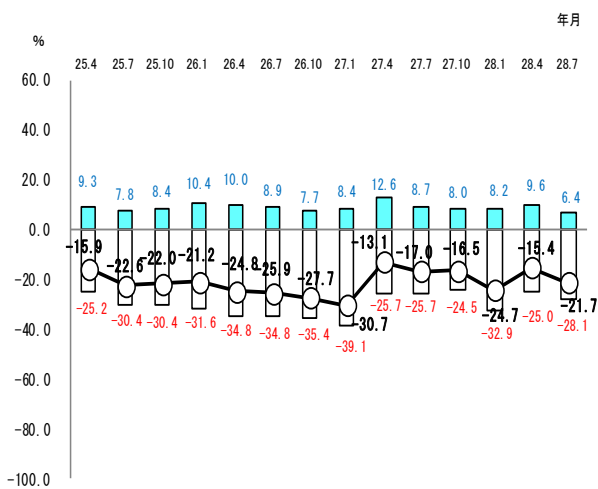
客数 (受注件数)



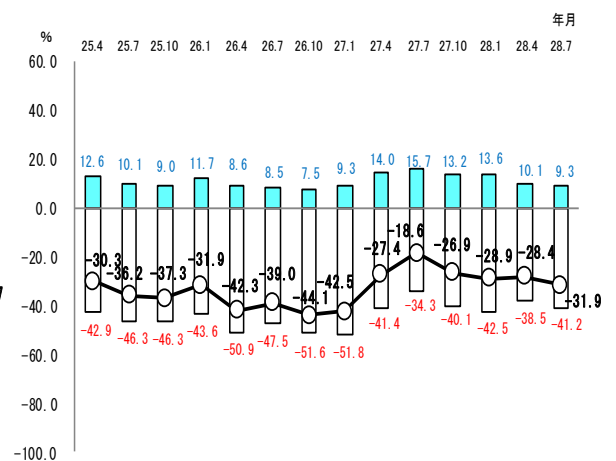
販売価格



資金繰り

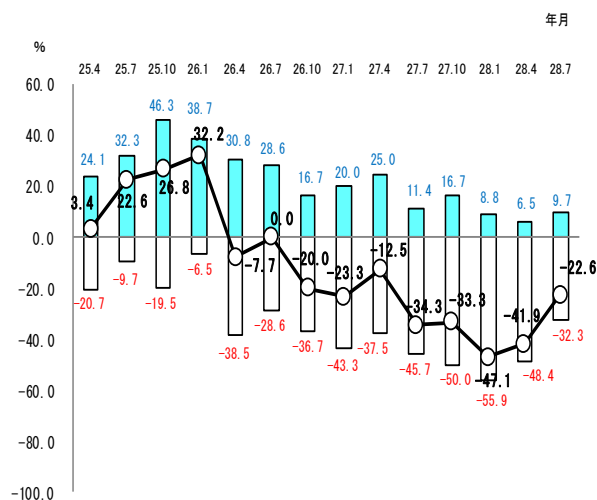


収益率

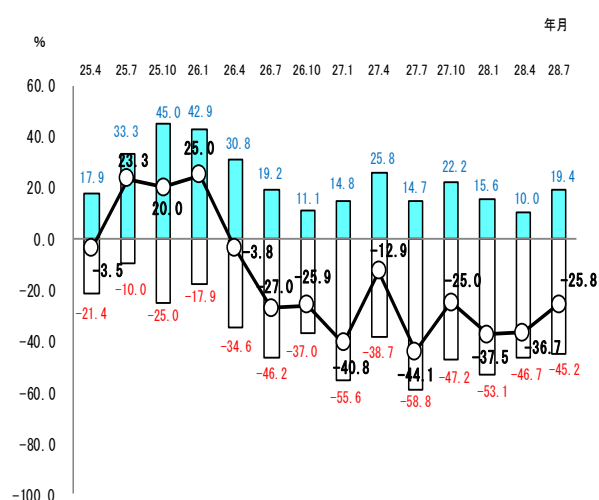


ア 建設業

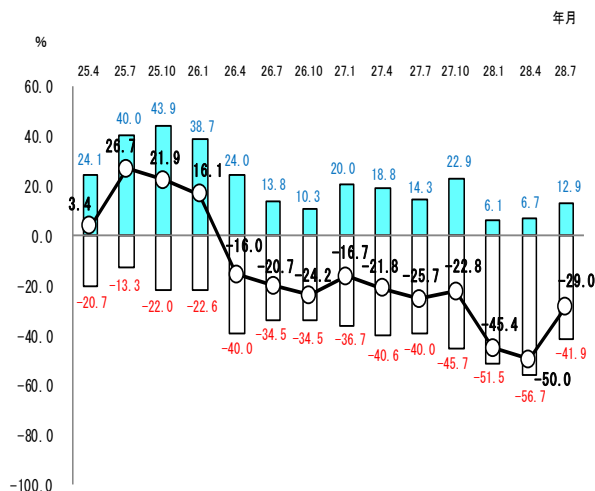
業況



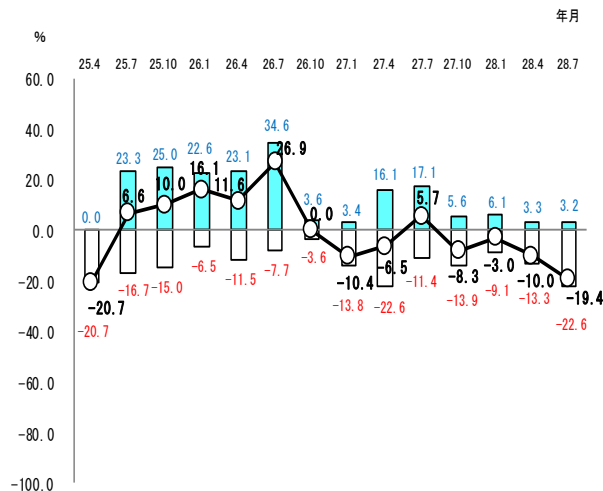
売上高



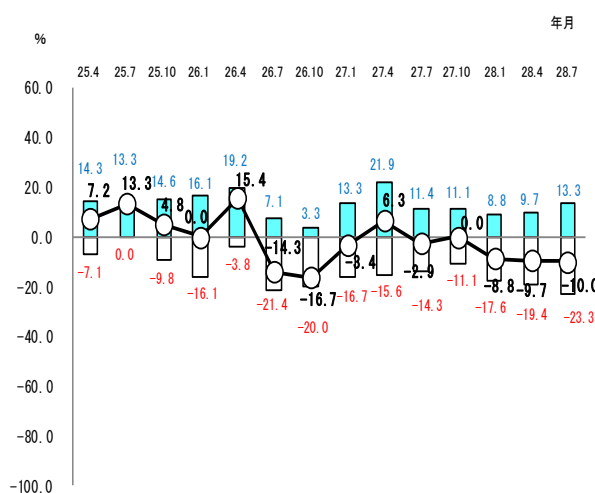
客数（受注件数）



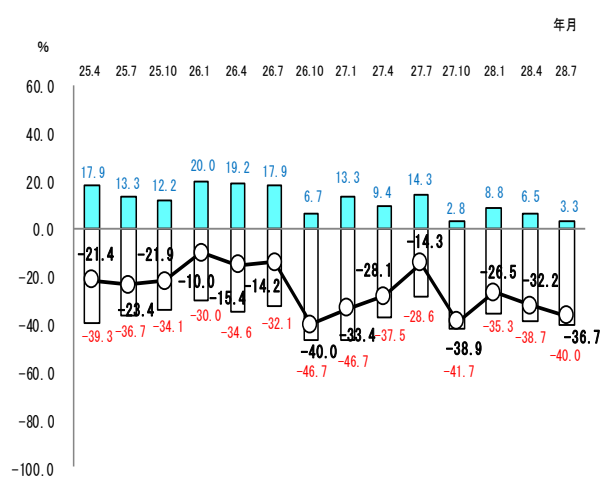
販売価格



資金繰り

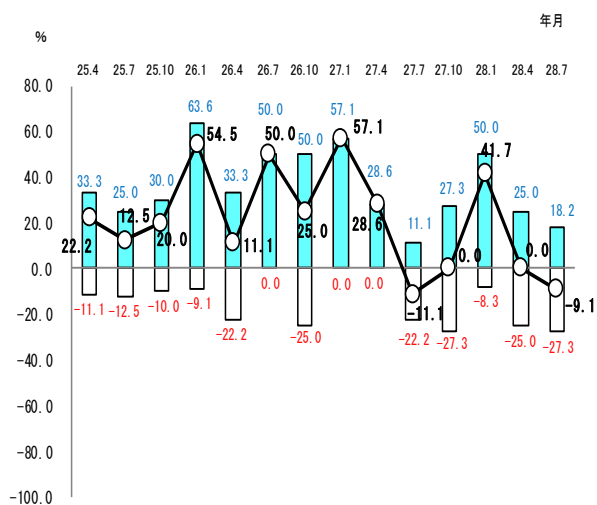


収益率

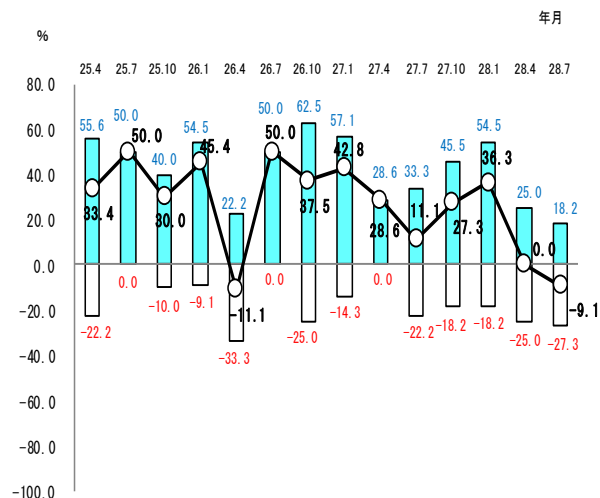


イ 情報サービス業

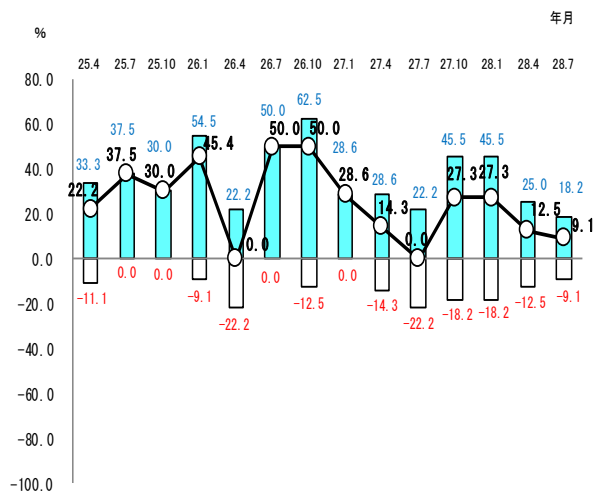
業況



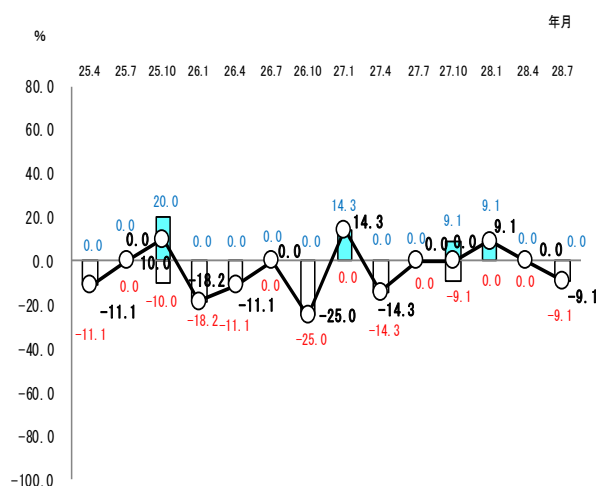
売上高



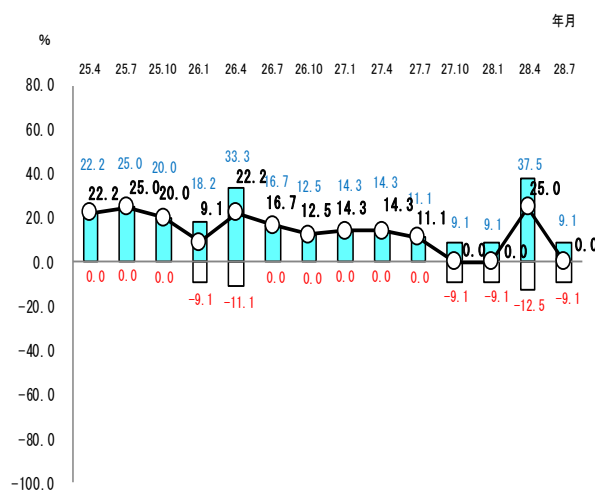
客数 (受注件数)



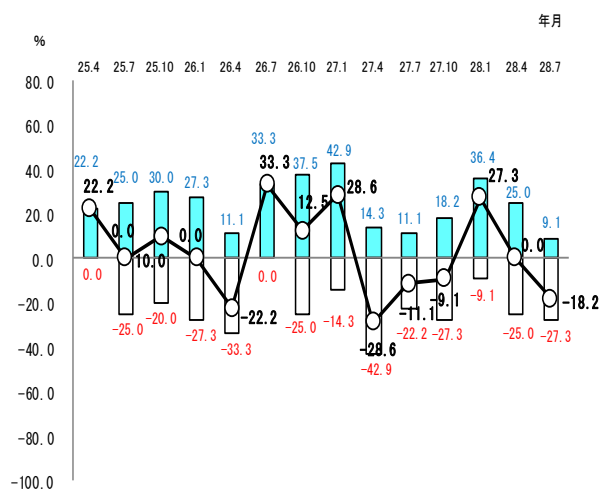
販売価格



資金繰り

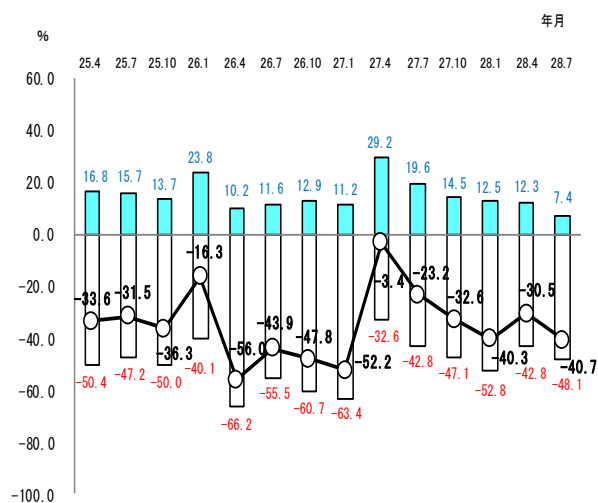


収益率

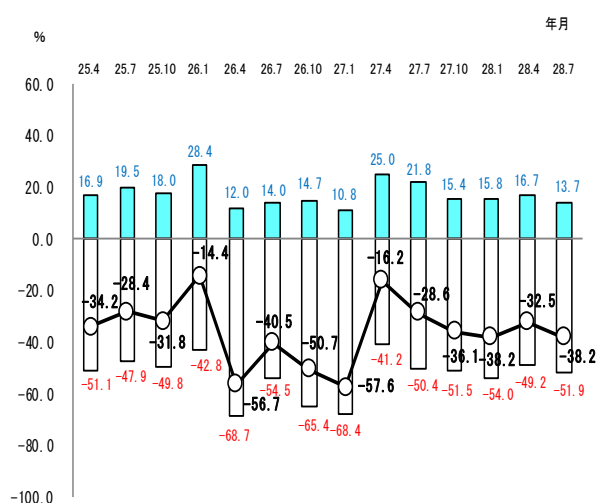


ウ 小売業・卸売業

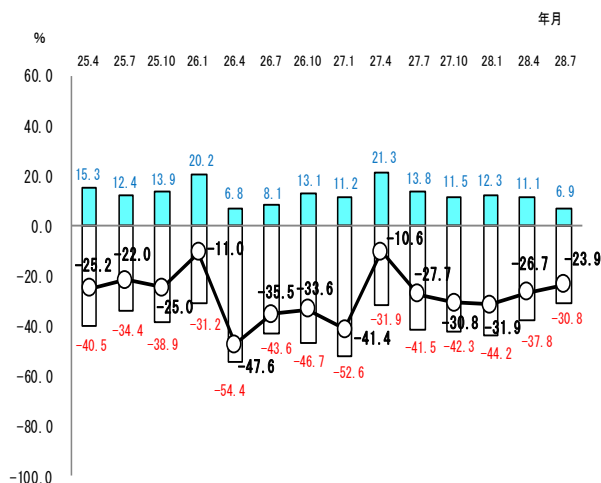
業況



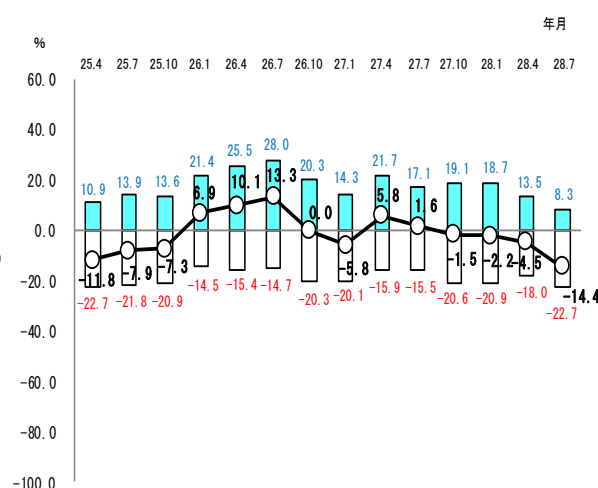
売上高



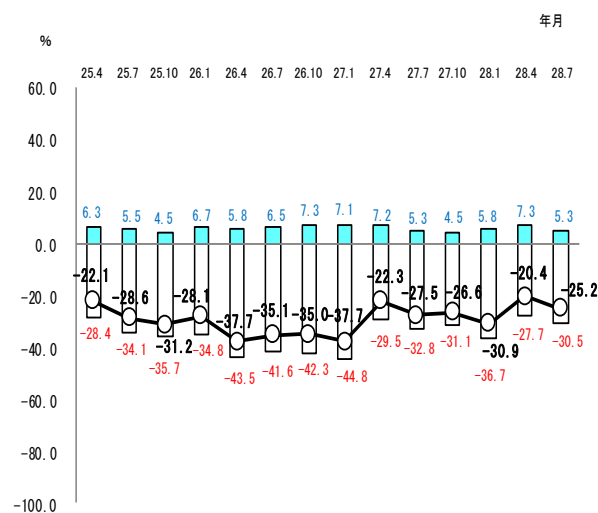
客数 (取引先数)



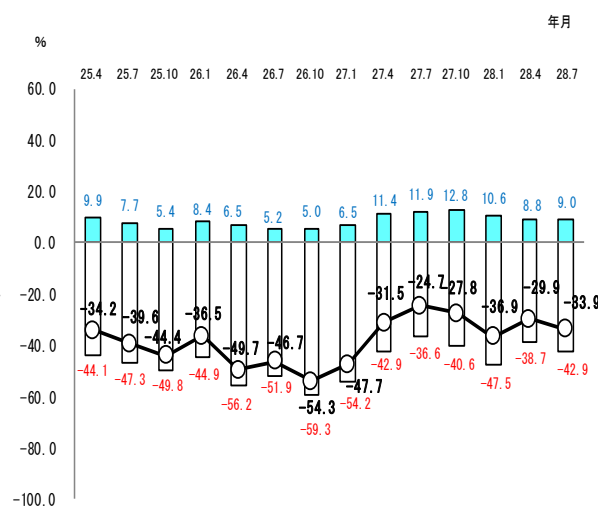
販売価格



資金繰り

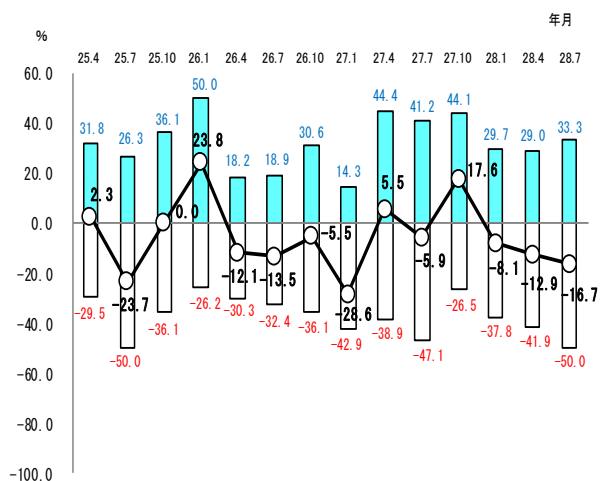


収益率

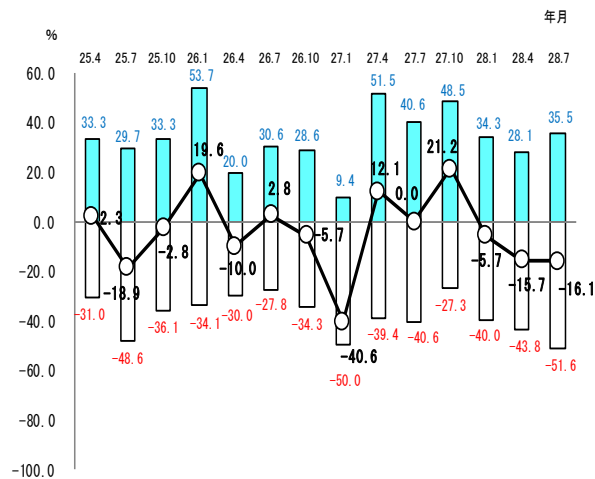


工 飲食業・宿泊業

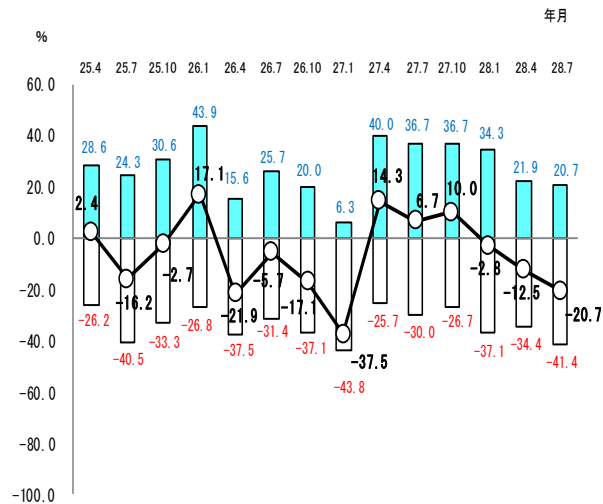
業況



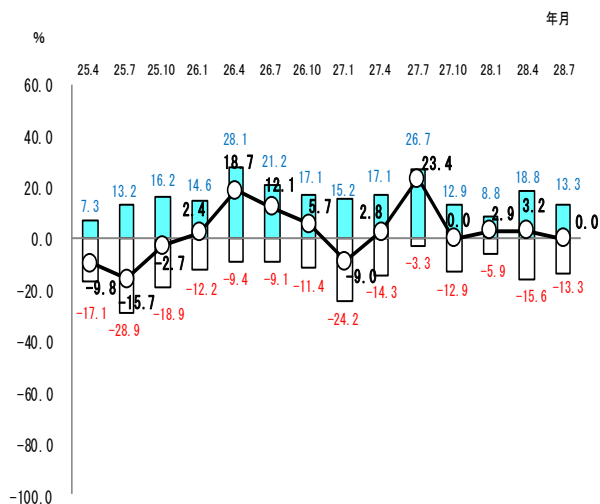
売上高



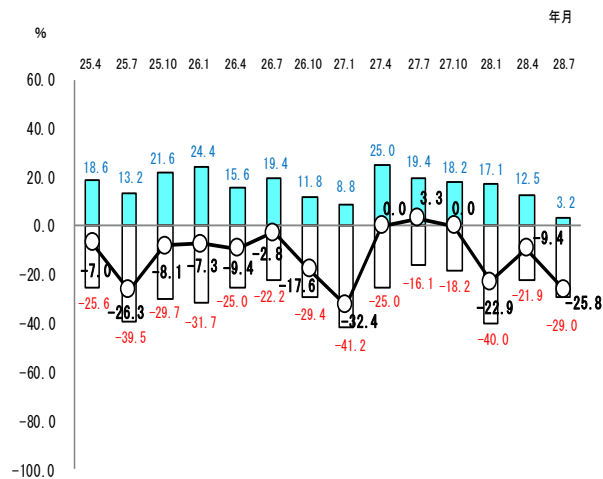
客数



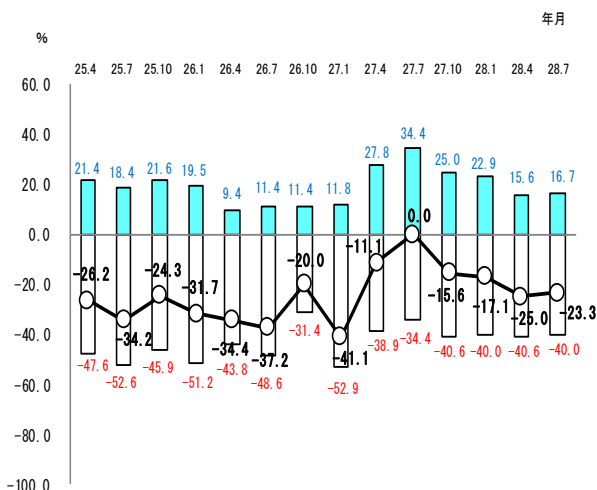
販売価格



資金繰り



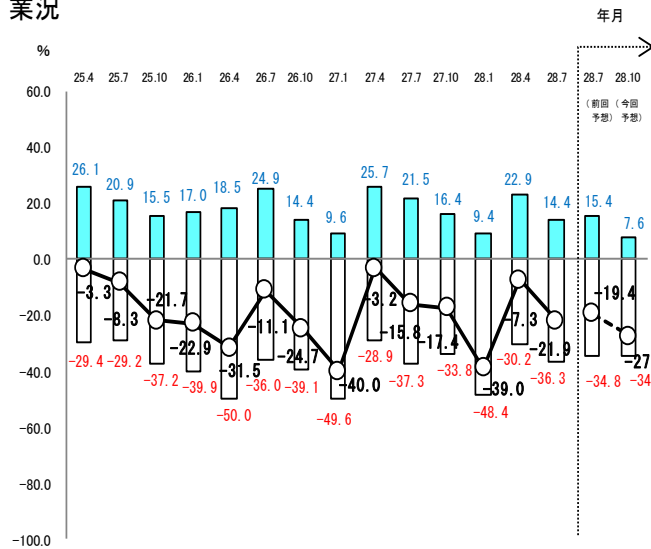
収益率



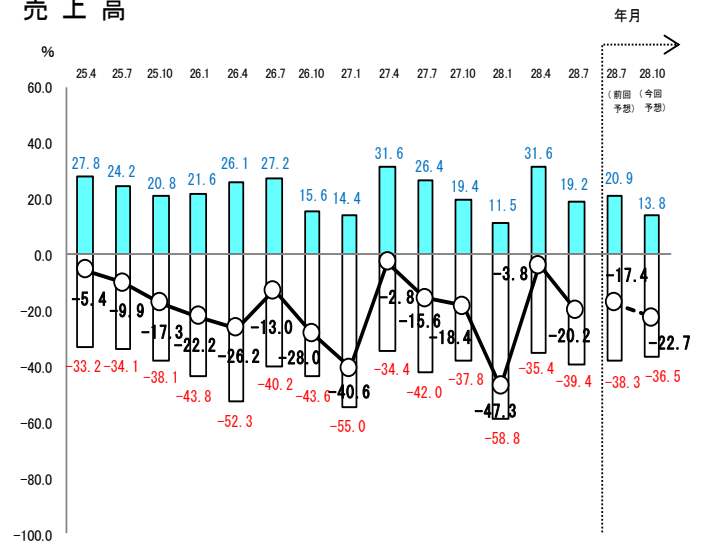
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

非製造業全体

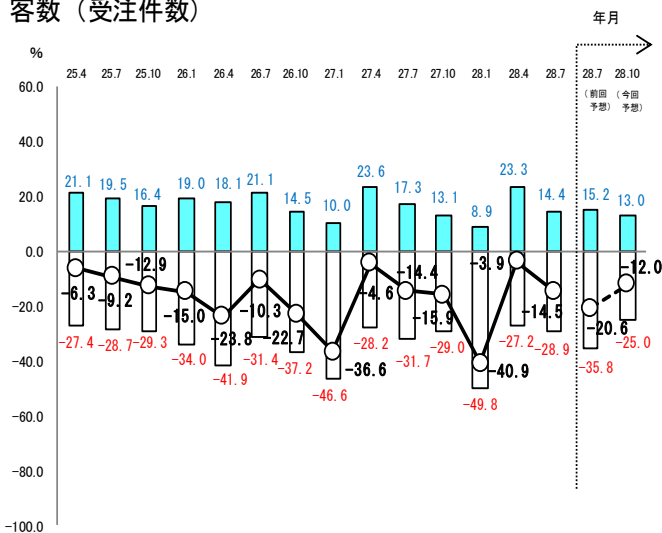
業況



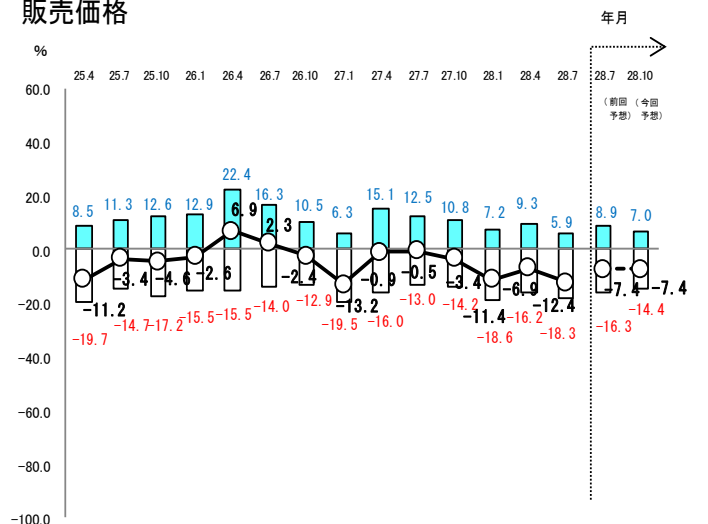
売上高



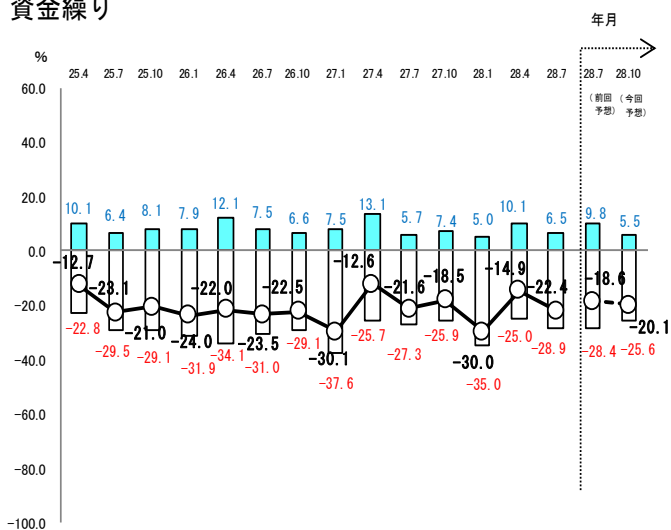
客数 (受注件数)



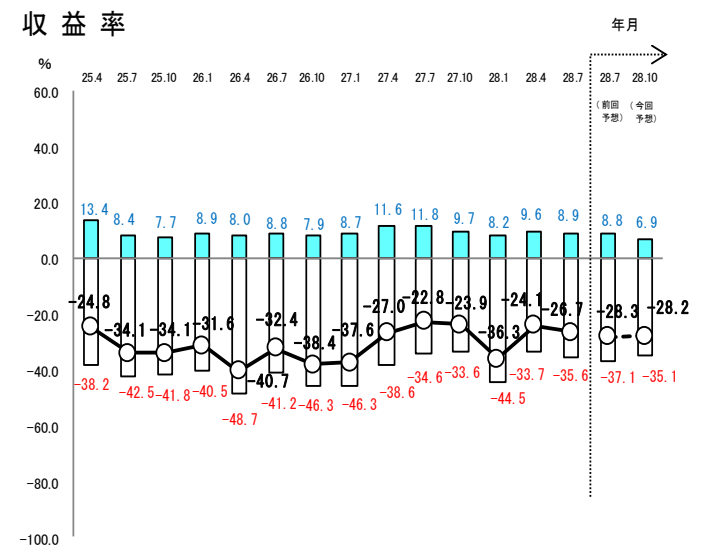
販売価格



資金繰り

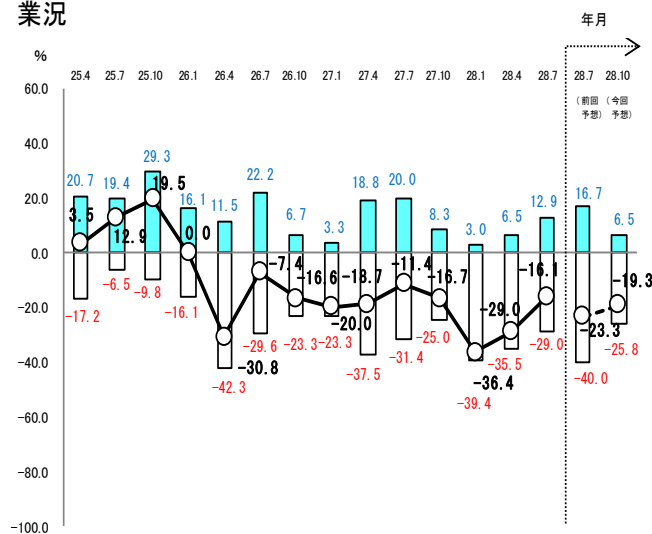


収益率

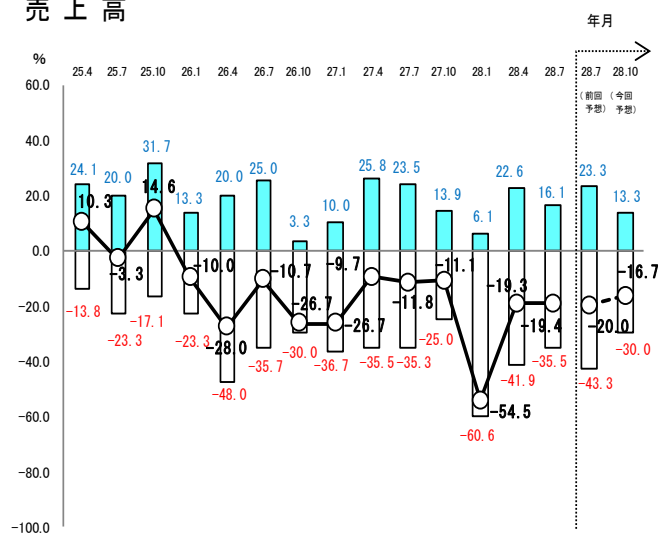


ア 建設業

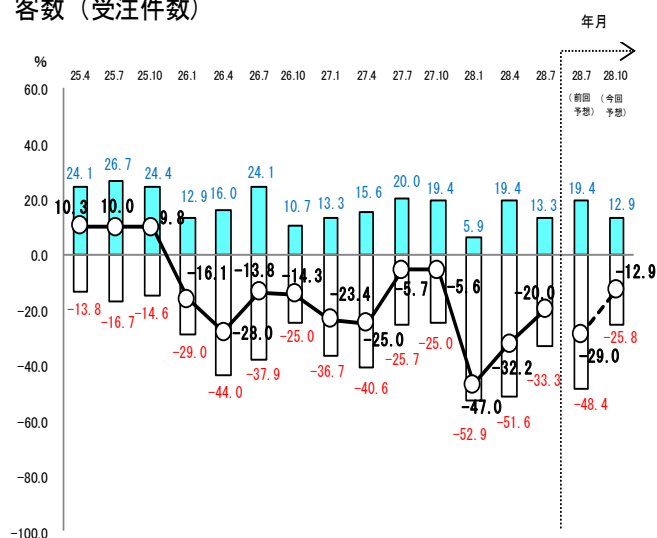
業況



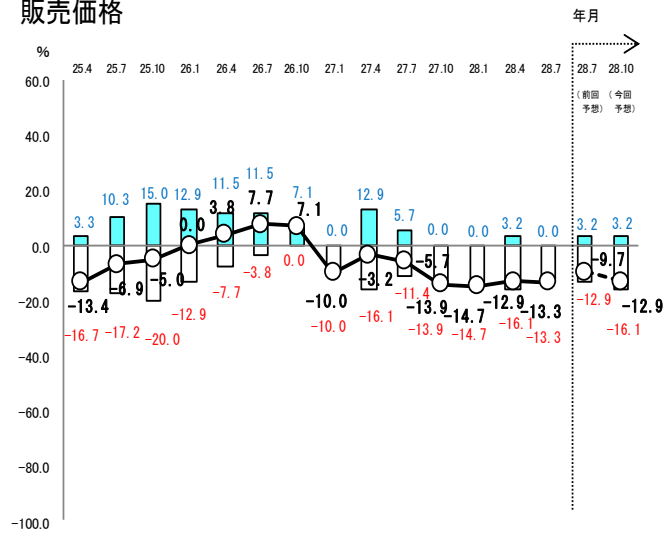
売上高



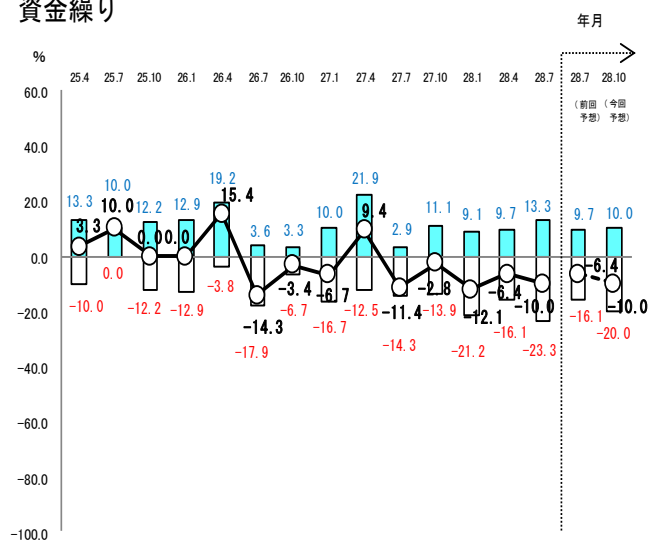
客数 (受注件数)



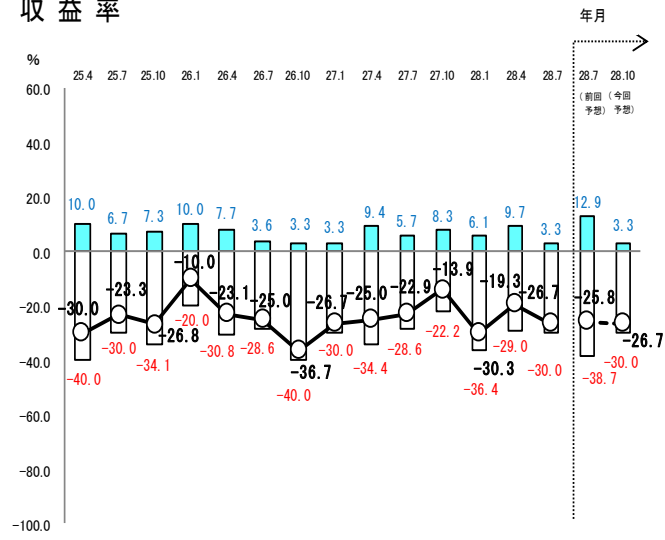
販売価格



資金繰り

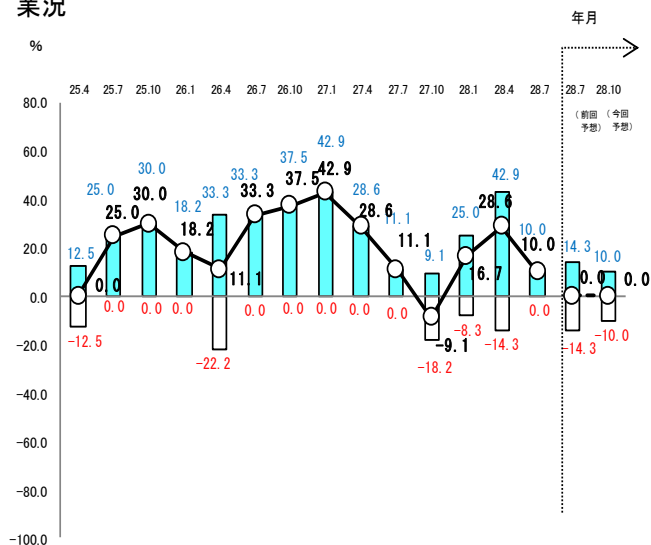


収益率

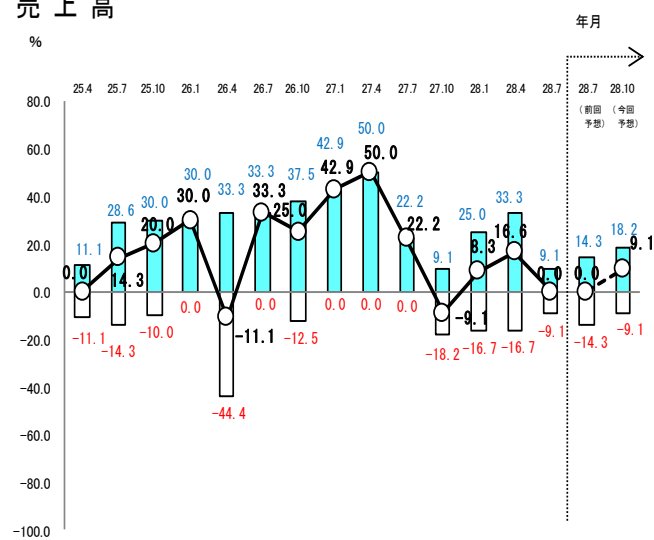


イ 情報サービス業

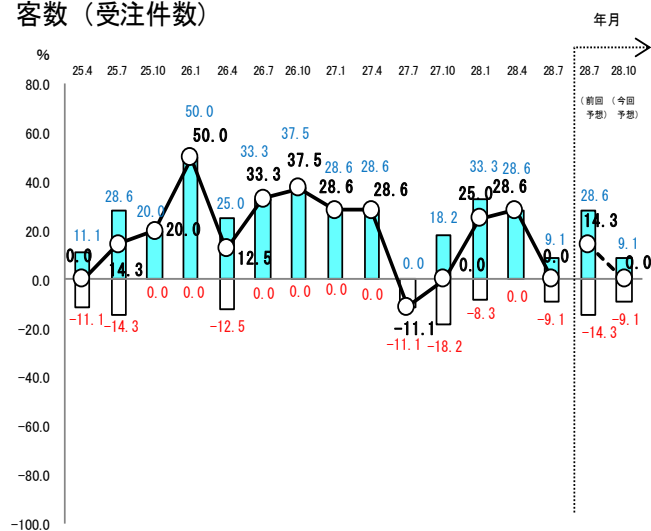
業況



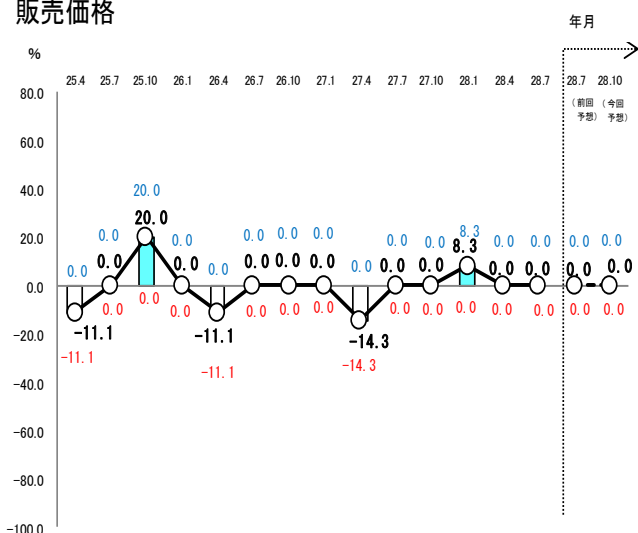
売上高



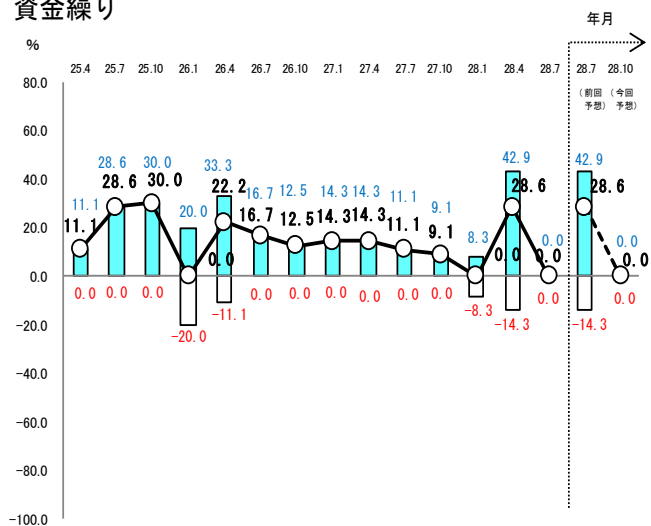
客数 (受注件数)



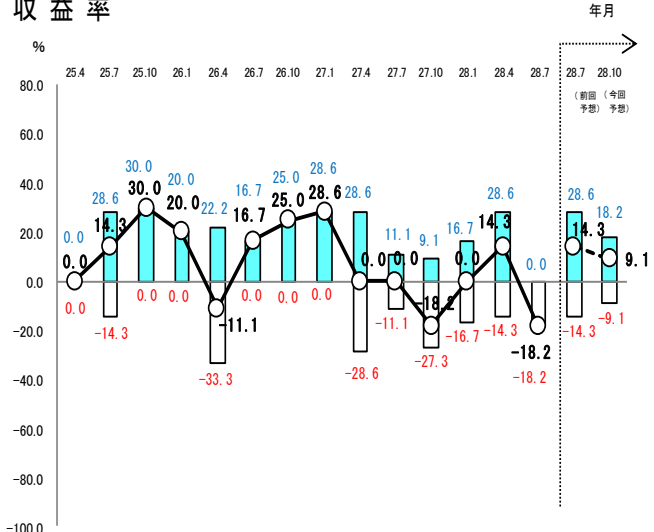
販売価格



資金繰り

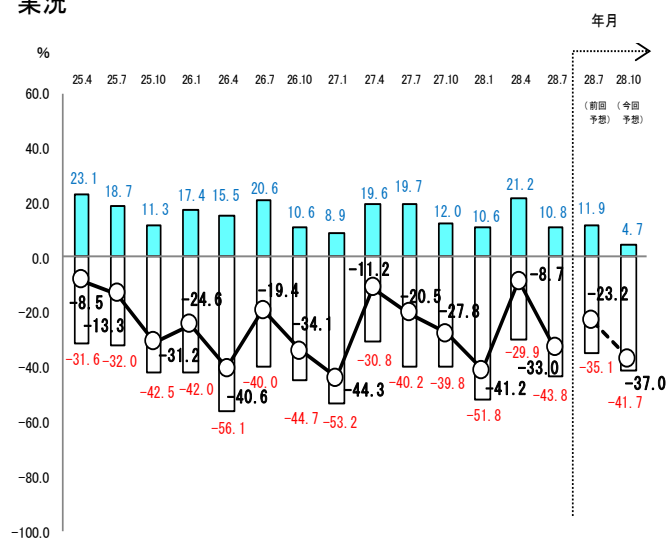


収益率

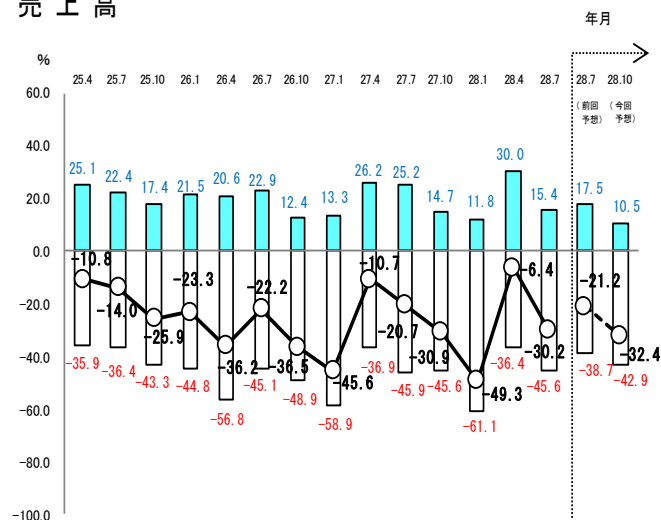


ウ 小売業・卸売業

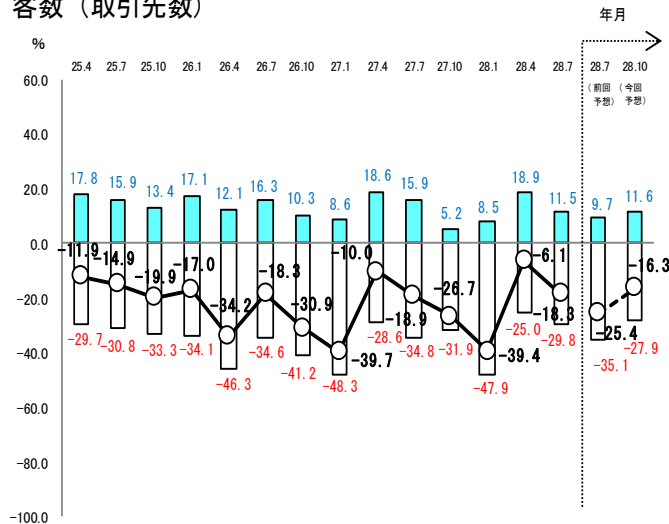
業況



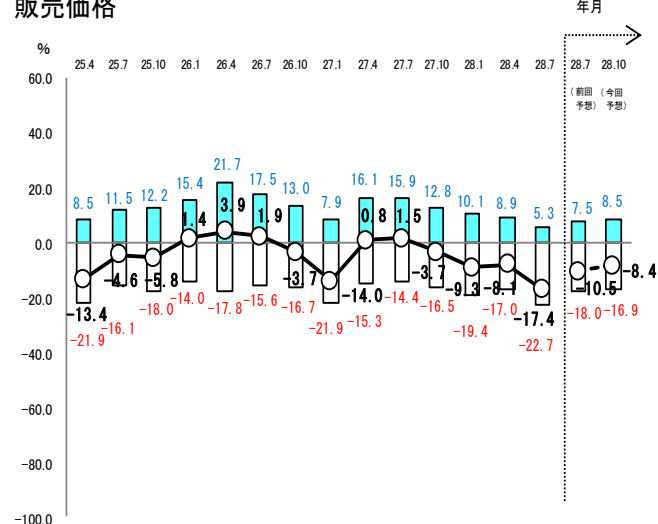
売上高



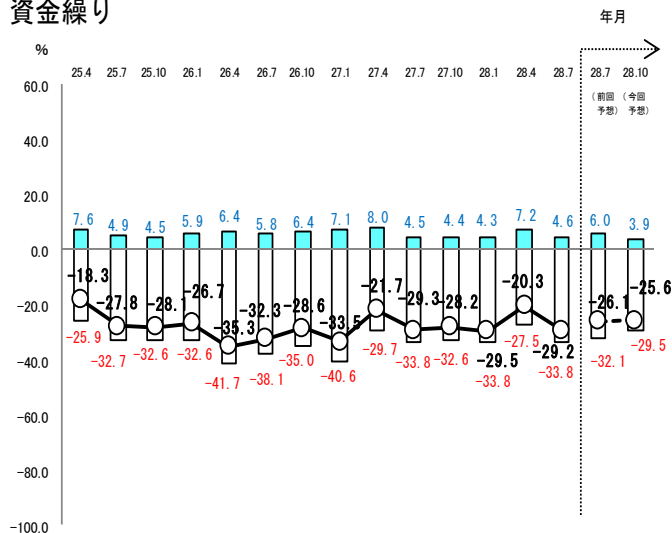
客数 (取引先数)



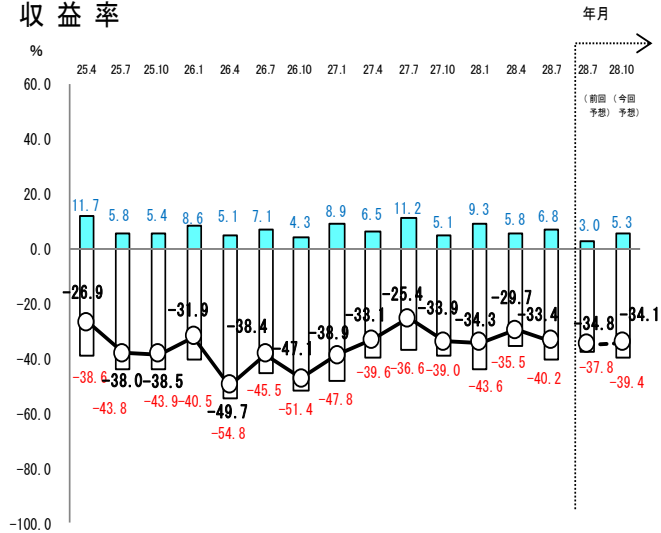
販売価格



資金繰り

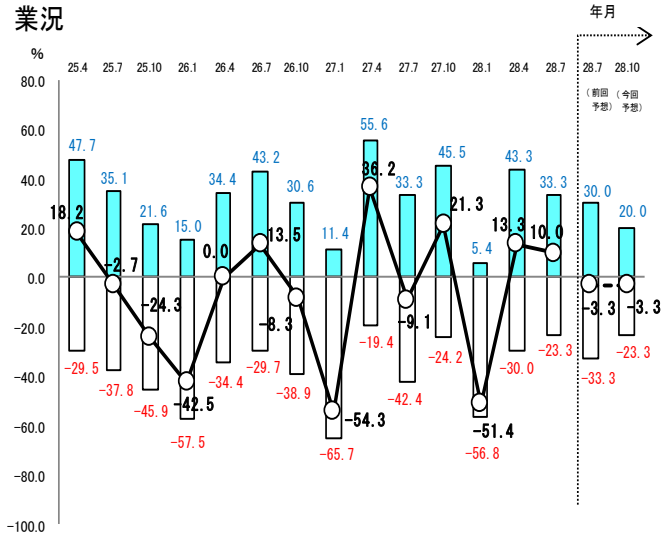


収益率

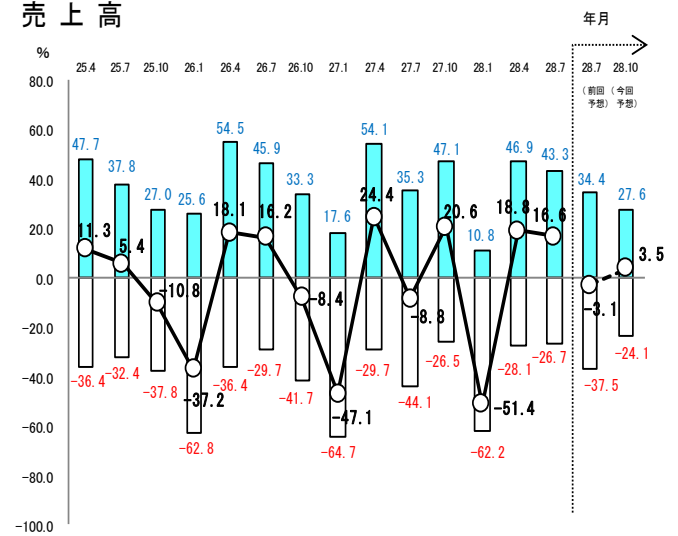


工 飲食業・宿泊業

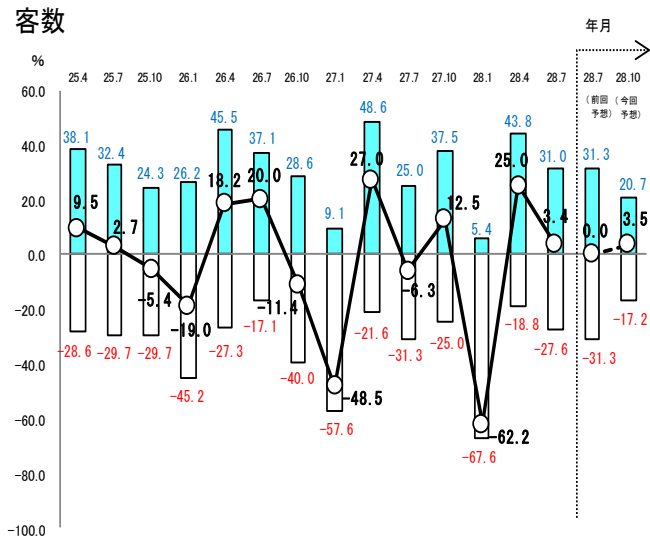
業況



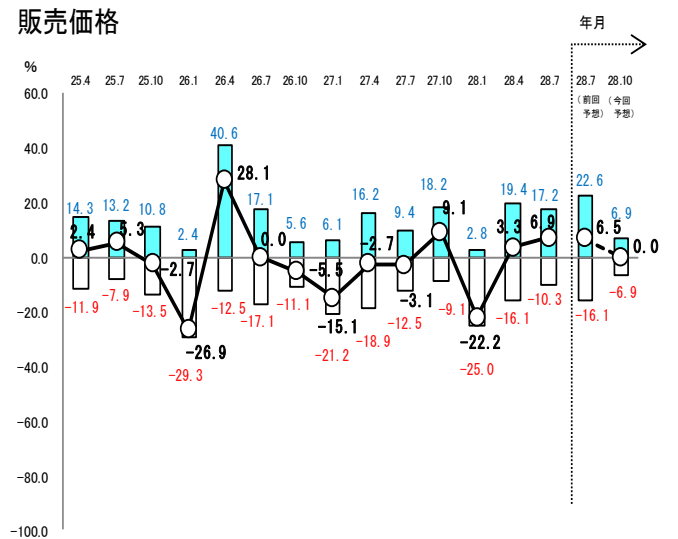
売上高



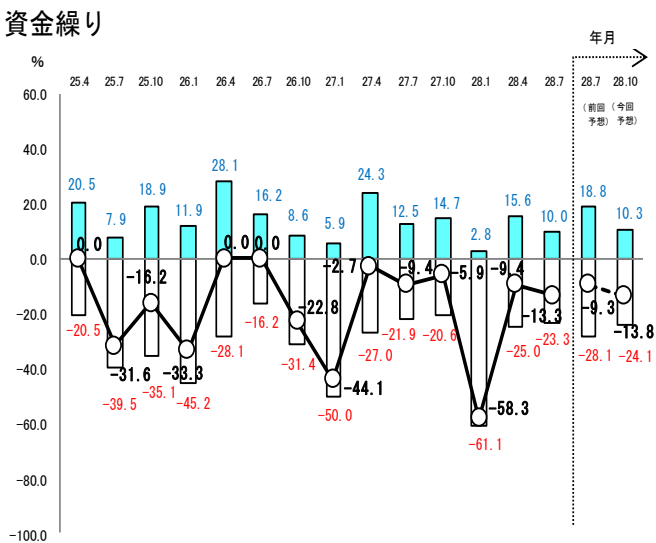
客数



販売価格



資金繰り



収益率

